

# Android チュートリアル 0

## –Android をインストールしよう–\*

愛知県立大学 山本研究室  
藤浦 祥雅†

### 1 はじめに

このチュートリアルは、Android アプリケーションを開発するための準備を解説していきます。  
Android アプリケーションを開発するために必要なソフトウェアは、次の三つです。

- (1) **Android SDK** Android アプリケーションを開発するための SDK
- (2) **Eclipse** Android アプリケーションなどのソフトウェアを開発するための統合開発環境
- (3) **ADT** Eclipse で Android アプリケーションを開発するためのプラグイン

この三つのインストールを順に紹介し、Android アプリケーションを開発するための環境を整えます。

### 1. Android SDK をインストール

まずは、Android アプリケーションを開発するための SDK (Software Development Kit) をインストールします。

#### 1.1 ダウンロード

Google Android のページ (<http://code.google.com/android/download.html>) からダウンロードしてきます。

「I agree to the terms of the SDK License」にチェックをつけて「Continue」をクリックすると、ダウンロードページに移動します。

---

\*URL:[<http://www.aichi-pu.ac.jp/ist/lab/yamamoto/android/android-tutorial/tutorial00/tutorial00.pdf>]

†mail:[[qtutorial@gmail.com](mailto:qtutorial@gmail.com)]

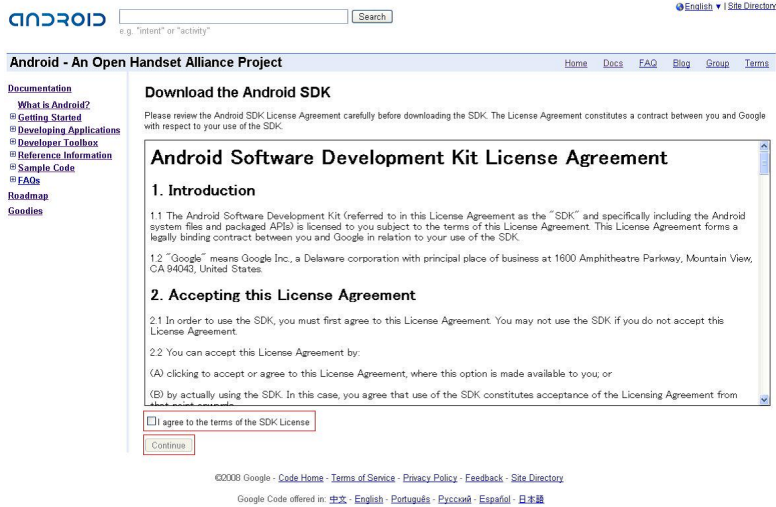


図 1: ダウンロードページ 1

そこで、自分の環境に合った SDK をダウンロードしてください。

今回は Windows で行っているなので、“android-sdk-windows-1.0\_r1.zip” をダウンロードしました。

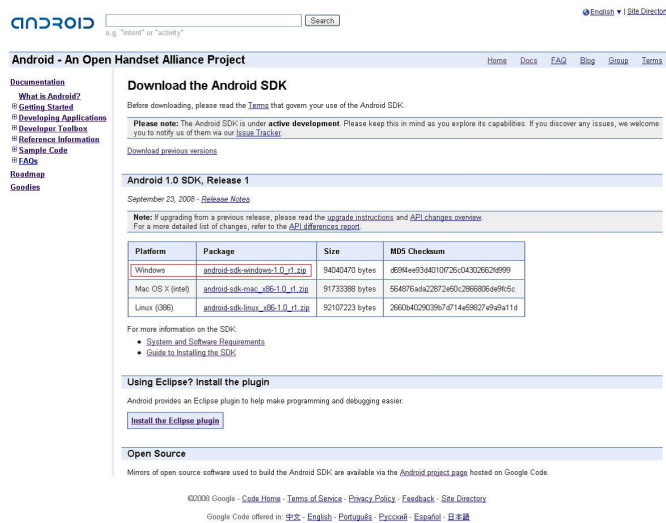


図 2: ダウンロードページ 2

## 1.2 解凍と環境変数

次にダウンロードしてきた SDK を解凍します。解凍すると、“android-sdk-windows-1.0\_r1” というディレクトリが作成されると思います。中身は以下のようになります。

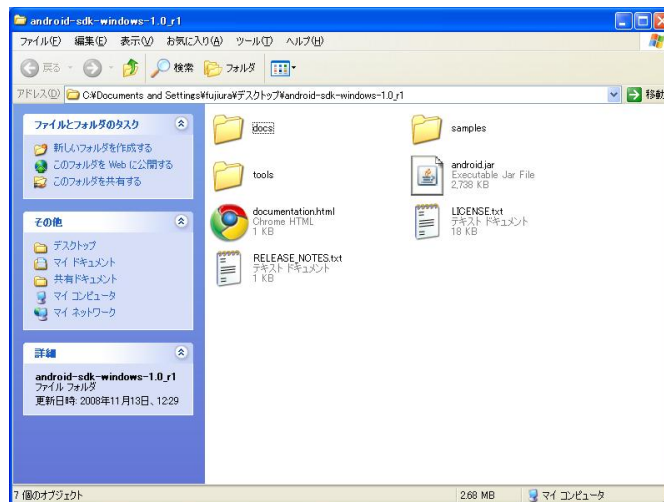


図 3: Android SDK の中身

SDK の中には、三つのディレクトリといくつかのファイルがあります。

**docs** Android のドキュメント

**samples** Android アプリケーションのサンプル

**tools** Android アプリケーションの開発支援ツール

このディレクトリ名は長いので、扱いやすいように短く変更したいと思います。今回の例では、“android-sdk” というディレクトリ名に変更しました。

SDK を自分の好きな場所に配置します。今回は、C ドライブの直下に置きました。(C:\android-sdk)

次に sdk をコマンドプロンプトから実行できるように、環境変数を設定します。環境変数の PATH に “C:\android-sdk\tools” を追加してください。

以上で SDK のインストールは、終了です。

## 2 Eclipse のインストール

Android アプリケーションを開発するために、Eclipse を利用します。

### 2.1 ダウンロード

Eclipse のダウンロードページ (<http://www.eclipse.org/downloads/>) からダウンロードしてきます。

ダウンロードする種類は、Eclipse Classic を選択します。

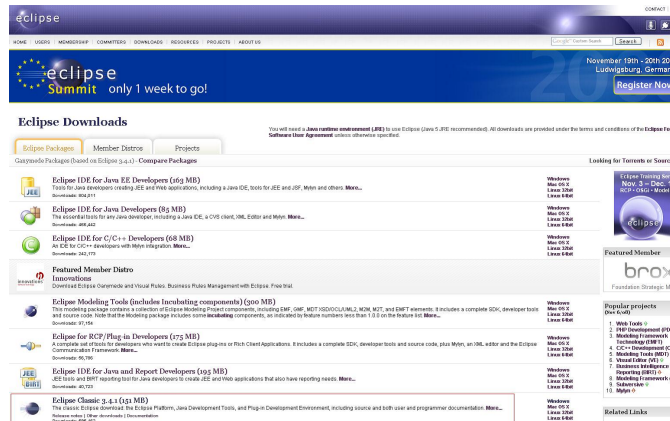


図 4: Eclipse ダウンロードページ

次のページに移ったら、PCのアイコンをクリックしてください。ダウンロードが開始されます。今回の例では、“eclipse-SDK-3.4.1-win32.zip”をダウンロードしました。

## 解凍

ダウンロードしてきた Eclipse を解凍します。解凍すると “eclipse” というディレクトリが作成されます。eclipse ディレクトリ内の “eclipse.exe” を実行すると Eclipse が立ち上がります。

Eclipse の詳しいことについては、EclipseWiki (<http://eclipsewiki.net/eclipse/>) を参考に。

## ADT のインストール

では、次に Eclipse に ADT プラグインを追加します。

1. まず Eclipse を起動します。
2. メニューにある “ヘルプ -> ソフトウェアの更新” をクリックします。
3. “使用可能なソフトウェア” のタブをクリックします。
4. “サイトの追加” をクリックします。
5. ロケーションに “https://dl-ssl.google.com/android/eclipse/” を入力し、“OK” をクリックします。
6. 入力したサイトが表示されたら、サイトの横のチェックボックスにチェックをいれます。
7. 入力したサイト以下のチェックボックスに全てチェックが入っていることを確認したら、右上の “インストール” をクリックします。
8. “次へ” をクリックします。
9. “終了” をクリックします。

以上で ADT プラグインのインストールが終了しました。

## ADT の設定

インストールした ADT の設定を行います。設定を行う部分は一箇所です、ADT が利用する Android-SDK の場所を指定します。

1. Eclipse を起動します。
2. メニューにある “ウィンドウ -> 設定” をクリックします。
3. 左側にある “Android” という項目をクリックします。
4. すると、右側に “SDK ロケーション” というテキストボックスが現れます。
5. そのテキストボックスにダウンロードした SDK のディレクトリ名を入力します。(今回の例では、“C:\android-sdk”)
6. “適用” をクリックします。
7. “OK” をクリックします。

以上で ADT の設定は終了しました。

## おわりに

今回インストールした 3 つのソフトウェアを使って Android アプリケーションを開発していきます。詳しい開発方法は、このチュートリアル続編を読んで学習してみてください。

## 参考文献

- [1] Android SDK: <http://code.google.com/android/>
- [2] Eclipse: <http://www.eclipse.org/>
- [3] ADT: <http://code.google.com/android/intro/installing.html>

## 変更履歴

2008/11/13 : Ver 1.0 : 公開開始 2008/12/10 : Ver 1.1 : “ADT の設定” 追加